

世田谷パブリックシアター芸術監督 野村萬齋プロデュース企画

MANSAI 解体新書

その貳拾六

「場」～音と時空のポテンシャル～



芸術監督企画

野村萬齋

◎のむら・まんざい 1966年東京都出身。狂言師。世田谷パブリックシアター芸術監督。人間国宝・野村万作の長男。重要無形文化財総合指定者。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の能狂言公演はもとより、「まちがいの狂言」など狂言の技法を駆使した舞台や、『神なき国の騎士—あるいは、何がドン・キホーテにそうさせたのか?』『国盗人』『敦—山月記・名人伝—』など古典芸能と現代劇の融合を図った舞台を演出・主演、『サド侯爵夫人』を演出。構成・演出・主演を務めた『マクベス』は、日本で再演を重ねるほか、海外公演(ソウル、ニューヨーク、シビウ、パリ)も行う。このほか、主な舞台出演に『オディプス王』(蜷川幸雄演出)、『ハムレット』(ジョナサン・ケント演出)、『子午線の祀り』(観世栄夫演出)、『ベジバードン』(三谷幸喜演出)、『かもめ』(ケラリーノ・サンドロヴィッチ演出)など。映画出演に『乱』(黒澤明監督)、『陰陽師』(滝田洋二郎監督)、『のぼうの城』(犬童一心・樋口真嗣監督)、『スキャナー 記憶のカケラをよむ男』(金子修介監督)、またNHK『にほんごであそぼ』に出演するなど幅広く活躍。著書に『萬齋でござる』(朝日新聞社/朝日文庫)、『狂言サイボーグ』(日本経済新聞社)、『狂言三人三様・野村萬齋の巻』(岩波書店)、『MANSAI◎解体新書』(朝日新聞出版)などがある。芸術選奨文部科学大臣新人賞、文化庁芸術祭賞演劇部門優秀賞、紀伊國屋演劇賞など受賞多数。

大友良英

◎おおとも・よしひで 1959年横浜生まれ。ギタリスト、ターンテーブル奏者、作曲家。実験的な音楽からジャズやポップスの領域までその作風は多種多様、その活動は海外でも大きな注目を集める。また映画やテレビの劇伴作家としても数多くのキャリアを有する。近年は「アンサンブルズ」の名のもと様々な人々とのコラボレーションを軸に展示作品や特殊形態のコンサートを手がけると同時に、一般参加型のプロジェクトにも力をいれている。震災後は十代を過ごした福島でプロジェクトを立ち上げ、2012年プロジェクトFUKUSHIMA!の活動で芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞。2013年には「あまちゃん」の音楽でレコード大賞作曲賞他数多くの賞を受賞している。2014年国際交流基金とともにアンサンブルズ・アジアを立ち上げ音楽を通じたアジアのネットワーク作りにも奔走、2017年札幌国際芸術祭の芸術監督も務める。

稲葉俊郎

◎いなば・としろう 1979年熊本生まれ。医師。2004年東京大学医学部医学科卒業。2014年東京大学医学系研究科内科学大学院博士課程卒業(医学博士)。現在、東京大学医学部付属病院 循環器内科 助教。東大病院では心臓を内科的に治療するカテーテル治療や先天性心疾患を専門とし、往診による在宅医療も週に一度行いながら、夏には山岳医療にも従事している(東大医学部山岳部監督)。医療の多様性と調和への土壌づくりのため、西洋医学だけではなく伝統医療、補完代替医療、民間医療も広く修める。国宝「医心方」(平安時代に編集された日本最古の医学書)の勉強会も主宰。古来の日本は心と体の知恵が芸術・芸能・美・「道」へと高められ心身の調和が予防医療の役割を果たしていた、という仮説を持ち、自らも能楽の稽古に励む。未来の医療と社会の創発のため、伝統芸能、芸術、民俗学、農業……など、あらゆる分野との接点を探る対話を積極的に行っている。

◎解体新書とは.....
現代芸術の世界を構成しているさまざまな分野、要素をパーツに分け解体しながら、それぞれの成り立ちと根拠をあらためて問い直すシリーズです。新たな「日本演劇」の創造と劇場の基礎づくりを目的に、毎回多彩なゲストをお招きし、お互いの専門分野を駆使しながら、共通する必要不可欠なもの「表現の本質」を探っていく企画です。通常の公演とは線を画し内容によって、スタイルもその都度変わるフレキシブルなものを考えておりまして、舞台進行は、野村萬齋がホスト役ではなく、ゲスト・アーティストと「トーク&パフォーマンス」を繰り返しながら進めていくものです。ただ一方的に観て、楽しむというだけでなく、より深く舞台芸術を楽しみたいと願っている観客に向けて、その真髄を発信することを目指しています。

◎今回のテーマは「場」
即興音楽、ノイズミュージックからジャズ、ポップスまで縦横無尽に活躍する音楽家・大友良英と、未来の医療のあるべき姿を創るために、芸術・芸能までも視野に入れた提言をおこなっている医師・稲葉俊郎をゲストに招き、表現の本質に迫る。表現・創作活動において、アーティストが依って立つ「場」と、音と時空との関係性を知り、そこに潜在的に存在する能力(ポテンシャル)と、どのようにアーティストは向き合っているのかを考え、さらに、「あたま」と「からだ」と「こころ」から発せられるメッセージについて触れる。

前売開始
6月19日
(日)

日時 **2016年 7月30日(土) 13:00開演**
会場 **世田谷パブリックシアター**
料金(全席指定・税込) **4,000円** 劇場友の会割引 **3,500円** ※U24・高校生以下は半額
チケット取扱いお問い合わせ
世田谷パブリックシアターチケットセンター
【10:00~19:00】 Tel **03-5432-1515**
世田谷パブリックシアターオンラインチケット 【要事前登録・24時間受付】
パソコン <http://setagaya-pt.jp/>
携帯 <http://setagaya-pt.jp/m/>

主催：公益財団法人せたがや文化財団
企画制作：世田谷パブリックシアター
後援：世田谷区
協賛：TOYOTA 東邦ホールディングス株式会社 Bloomberg
協力：東京急行電鉄株式会社

※U24：18歳～24歳の方は世田谷パブリックシアター主催公演の前売チケットを一般料金の半額でお求めになれます。枚数限定・要事前登録。
詳細は世田谷パブリックシアター公式サイトへ。このサービスはトヨタ自動車株式会社が提供しています。
※高校生以下：世田谷パブリックシアターチケットセンターのみで取り扱い。要年齢確認。
※車椅子スペース：定員有・要予約・一般料金の10%割引、付添者は1名まで無料。申込は公演の前日19時までに劇場チケットセンター03-5432-1515へ。
※託児サービス：生後6ヶ月以上9歳未満・定員有・要予約・2,000円。申込は公演の3日前の正午までに劇場03-5432-1526へ。
※未就学児はご入場いただけません。

世田谷パブリックシアター
SETAGAYA PUBLIC THEATRE

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー 3F 03-5432-1526
三軒茶屋駅【東急田園都市線(渋谷より2駅・5分)・世田谷線】直結

